

1 概要

目的：①地域自立支援協議会関係者の交流の場を設定し、活動状況に関する情報交換を実施することにより、地域自立支援協議会の円滑な運営や活動の活性化を図る。

②東京都自立支援協議会として、地域自立支援協議会の活動状況を把握する。

日時：令和元年9月2日（月曜日）13時30分から17時まで

場所：東京都社会福祉保健医療研修センター 502教室他

対象者：地域自立支援協議会委員・事務局関係者、区市町村職員
東京都自立支援協議会委員・事務局関係者

周知方法：各区市町村の地域自立支援協議会会長、主管課長宛てに通知を発送
各区市町村の地域自立支援協議会主管課へメール及び電話連絡

参加者数：142名

- ・区市町村参加者 106名（16区19市2町）
- ・東京都自立支援協議会委員 17名
- ・都事務局関係者 19名

この他に、障害を有する方の支援者が13名参加

2 プログラム

テーマ どうすれば、私たちは「声なき声」をきけるか
～みんなで考え、良い事例を共有しよう～

ミニシンポジウム

今年度のテーマ選定理由

話題提供

<パネリスト>

○東京都自立支援協議会副会長 曾田 夏記 氏

（特定非営利活動法人自立生活センターSTEPえどがわ）

○武蔵野市地域自立支援協議会委員／障害当事者部会部会員 福田 暁子 氏

○東京都自立支援協議会委員 九鬼 統一郎 氏

（狛江市福祉保健部福祉相談課相談支援係長）

○東京都自立支援協議会会長 岩本 操 氏

（武蔵野大学人間科学部人間科学科教授）

グループ討議

（1）他地域の自立支援協議会関係者で意見交換（12グループ）

- ・当事者の委員が参加しやすくなるために取り組んでいることや課題
- ・地域で生活する当事者の声を吸い上げるために取り組んでいることや課題

（2）区市町村ごとで振り返り

- ・グループ討議（1）で意見交換した内容、取り入れたい取組や工夫を共有
- ・区市町村に戻って、まずできること（取り組むこと）を考える。

全体会

（1）区市町村からの発表

（2）東京都自立支援協議会会長によるまとめ